

地協発 雇用・労働条件・生活など幅広い視点で総合生活改善

トータルライフアップ
学習会開催中!

総合生活改善を目的とした、2016トータルライフアップ学習会が6月まで各地で開催されます。今回は高崎・桐生・北部地協をご紹介します。

高崎地協は2月14日、高崎市市民活動センターで開催し組合員、議員懇など149名が参加しました。はじめに、1984年ロスオリンピックに高校三年で出場した、不破弘樹氏(右)を招いて『中学・高校・大学・一般とすべての分野で100m日本記録を樹立。50歳にしてマスターズの日本記録に挑む!』と題した講演を行いました。また、連合群馬から春闘方針について説明を行いました。

何ごとも目標をもって臨むことが大切。



組合員の生活が第一
生活水準の向上・モチベーションの向上を図るために、組合執行部及び組合員が一致団結して取り組みます!



桐生地協は2月24日に、桐生市勤労会館で開催し、組合員など55名が参加しました。

春闘に向けた地場労組の取り組みとして、電機連合・日本電産サーボ労組 星野委員長(左)から、賃上げや次世代育成に向けた取り組みなど今春闘の特徴点を紹介しました。また、可処分所得向上に向け中央労金桐生支店小此木次長(右)より、「30代からのライフプラン」と題した説明がありました。

北部地協は3月12日に、渋川市勤労福祉センターで開催。組合員など76名が参加しました。

はじめに、中央労金群馬県本部・富沢氏(右)より、マイナンバー制度の具体的な利用例やろうきんの取り扱いなど説明がありました。続いて、金子渡県議(左)より、群馬県当初予算について、働く目線、生活者視点に立った施策について分かりやすく説明があり、中でも北毛地域に関わる事業について細かく報告がありました。

学習環境改善を目的に県立高校に3年かけて空調設備を設置します。



群馬県の未来の発展を見据えた「ぐんま創生予算」を学習

連合群馬議員懇談会が主催する「群馬県予算学習会」が、2月19日、群馬県勤労福祉センターで開催され、議員懇や構成組織、地協から54名が参加しました。

群馬県財政課 沼澤課長は基本的な考えを示した上で「限られた財源ではあるが、政策課題の解決に必要な新たな視点からの検討をしっかりと行った。社会保障費が上がっていることを踏まえ、県民に必要な予算はしっかりと配分している。」など県民目線に立った、効率・効果的な予算編成の説明を行い、全体で共有しました。



1月 移転リニューアルしたやさしさがいっぱい【ろうきん館林支店】をご紹介します!



明るくて、床も絨毯。やさしい印象!



これなんだ?! 県内ろうきん初! タッチペン式の端末導入、伝票記入が苦手な人にもやさしい



もちろんやさしい笑顔



お気軽にお立ち寄り下さい